「ふれあい広場」の各コーナーで紹介する人を募集します。自薦他薦は問いません。日ごろ感じている意見や質問なども募集しています。
あて先＝〒028－0592　遠野市東舘町８番12号
市情報推進課広報広聴係（☎㊷2111内線364）

ふれあい広場

風の人

平成18年度緑のふるさと協力隊員として着任

触れ合う時間を大切にしたい

佐藤 亜紀（あき）さん（川崎市出身・30歳）

佐藤亜紀さんは、特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）地球緑化センターの平成十八年度緑のふるさと協力隊員として本市に派遣され、四月十一日に着任しました。

緑のふるさと協力隊は、若者が全国の自治体で一年間、山村生活など都会ではできない体験を通して、自分自身の生き方を見つけてもらう制度。同協力隊員の受け入れは、旧村が平成十五年度から始めて、今期で四人目となります。

佐藤さんは一年間、宮守総合支所に在籍し、地域づくり活動などに携わります。

「地域の祭りや伝統芸能に興味があり、岩手にたびたび足を運んでいました。観光だけの視点ではなく、本質に触れてみたいと思っていたところ、協力隊という制度があることを知り応募しました。

県内の派遣先は二カ所ありましたが、観光で遠野を訪れていたことがあったので、お世話になることにしました。方言を聞くと遠野に来たことを実感します。

この一年間、できる限りイベントや地域活動に参加したり、スタッフとして携わったりして、都会では体験できないことすべてを楽しみたいと思います。

また、地元で受け継がれてきた文化や伝統芸能が伝承されてきた経緯に触れ、わたし自身も皆さんと一緒に演じてみたいです。

土地をよく知り、地域に住んでいる人たちと触れ合う時間を大切にしていきたいと思います」と話していました。

大きくなったら何になりたい？

ひとことインタビュー

石田 稜真（りょうま）くん
（土淵小・１年）
車が大好きなので、ガソリンスタンド屋さんになりたいです。サッカーとかバレーとかボール遊びが好きです。

菊池 あかりちゃん
（土淵小・１年）
ケーキ屋さんになって、ホワイトチョコがたくさんのっているケーキを作りたいです。家では掃除の手伝いをします。

新田 愛里（あいり）ちゃん
（附馬牛小・１年）
パン屋さんになって、おいしい食パンを作りたいです。家では料理の手伝いをしています。

菊池 耀（ひかる）くん
（附馬牛小・１年）
シュートを決める人がカッコいいので、サッカー選手になりたいです。好きな勉強は算数で引き算が得意です。

青春のトーク ⑦

◆**お仕事は**…父とともに、和牛の繁殖や水稲栽培をしています。自分が手掛けた結果を良くも悪くも目の当たりにできることが農業の魅力です。
◆**特技は**…強いて言えば、子どものころから続けている板沢しし踊り。
◆**自己分析すると**…マイペース（笑）。
◆**理想のタイプは**…いつも笑顔を絶やさない人。
◆**将来の夢は**…経験を積んで、質・量ともに遠野で一番の和牛繁殖農家になることです。農業に取り組む若い人がもっと増えて、お互いに競い合えたらいいですね。

何でもこなす父が目標

佐々木　慎一朗（しんいちろう）さん
上郷町・22歳・B型・農業

ともに歩んで半世紀 ⑦

綾織町

綱木 政志（まさし）さん　（78歳）
まさ子さん（74歳）

家族みんなに感謝 仲良く老後を過ごしましょう

・結婚のとき、五十年の思い出は―
（政志）結婚式前の記念写真の撮影で初めて顔を見ました。
（まさ子）当時の新田地区は、ちゃんとした道路がなく、すごい所へ嫁に来たと思いました。
（政志）食糧難の時代でしたが、長男が健康優良児になり、県から表彰されました。とてもうれしかったことを覚えています。
（まさ子）長男が高校を卒業して、スイスへ農業研修に行きました。一年間だけでしたが、どんな生活をしているのか心配しながら帰りを待ちました。
・今の楽しみ、お互いに言いたいこと―
（政志）音楽が好きなので、暇を見つけてキーボードを弾くことです。
（まさ子）畑仕事や花いじり、好きなテレビ番組を見ることです。
（政志）家族みんなに支えられて感謝しています。
（まさ子）これからも仲良く、老後を過ごしましょう。

学校CLUB紹介 ⑦

金賞を目標に 演奏を楽しむ

附馬牛中学校吹奏楽部

附馬牛中学校（杉本 学（まなぶ））校長、生徒四十三人）吹奏楽部は、二年生一人、三年生一人の計二人で活動しています（取材日の関係上、一年生はまだ入部してきていない）。昨年は五月に行われた管打楽器ソロコンテスト北東北大会で銀賞を受賞したほか、地区の敬老会や野球応援などで演奏しました。

部長の佐々木智子（ともこ）さん（三年）は「部員が二人しかいないので、アンサンブルコンテストに出場できないのが残念ですが、音楽に触れることが楽しい毎日です。現在は、六月に行われる管打楽器ソロコンテストに向けて練習しています。音と音のつながりを滑らかに演奏するなど技術向上を図り、今年はぜひとも金賞を取りたいです」と話していました。

顧問の佐々木比奈子（ひなこ）教諭から…二人とも音楽が好きで入部してきた生徒です。ソロや中文祭での合同バンドなど、たくさんの演奏を経験して、音楽の楽しさや面白さを感じてほしいです。